

# 岡山県 津山市（民有林の整備）

- 津山市では、不在地主や相続未登記森林の増加などから、森林が放置され、土砂災害発生の危険性が高まっている。また、主伐期を迎える森林を次の世代に繋いでいくためには森林の更新を進める必要がある。このため、森林環境譲与税を財源として、森林組合等における間伐、主伐・再造林、作業路網の補修を支援するとともに、森林経営管理制度に基づく間伐等を実施する方針。
- 津山市では、令和3年度においては、以下の取組を実施。
  - 保育間伐等の手遅れ林分における施業を促進するため、国・県の森林整備事業に対して上乗せ補助を実施した。
  - 保育間伐等の適正な管理に必要となる森林作業道の補修に関する経費に対する補助を実施した。
  - 伐期が到来した林分の更新を促進するための皆伐後の再造林、獣害対策、下刈りに関する国・県の森林整備事業に対して上乗せ補助を実施した。

## □ 事業内容

### 1 保育間伐等助成事業

- 森林組合等が森林経営計画に基づき行う保育間伐、除伐、枝打ちについて、自己負担額を助成。

【事業費】4,595千円（全額譲与税）

【実績】保育間伐1.4ha、除伐13.7ha、枝打ち1.4ha

### 2 森林作業道補修助成事業

- 森林組合等が行う、森林の適切な管理を実施するための森林作業道補修について、その経費の一部を助成。

【事業費】5,812千円（全額譲与税）

【実績】7路線、7,004m



(保育間伐等助成事業)



(森林作業道補修助成事業)



(皆伐再造林等助成事業)

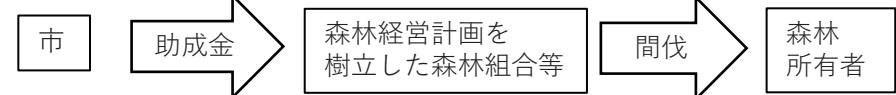
### 3 皆伐再造林等助成事業

- 森林組合等が森林経営計画に基づき行う再造林、獣害対策、下刈について、自己負担額の1/2を助成。

【事業費】142千円（全額譲与税）

【実績】下刈り6.29ha

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- 皆伐後の再造林について、シカの被害対策が森林所有者の大きな負担増となっていることを考慮した。

## ◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	64,148千円
②私有林人工林面積（※1）	13,649ha
③林野率（※2）	69.9%
④人口（※3）	99,937人
⑤林業就業者数（※4）	215人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、

※4：「H27年国勢調査」より